

# 子どもを視る眼を育む実習日誌について

Junior college students' kindergarten educational training diaries that  
nourish senses of observing children

陸路和佳、松本和美、山田吉郎、山室吉孝、山里哲史

Waka MUTSURO, Kazumi MATSUMOTO, Yoshiro YAMADA,  
Yoshitaka YAMAMURO, Tetsushi YAMASATO

## 1. はじめに

幼稚園において預かり保育が始まり、幼保連携型認定こども園が設立されると共に、保育形態も変化してきた。長時間保育が行われるようになり、子どもによって保育時間は様々であり、朝9時から14時までの一斉保育を構成する保育を行うことが困難な状態になってきている。日々の保育は多様化し、一人一人の子どもの育ちを大切に保育を目指している。そのような保育の現状に、我々保育者養成校として、将来の保育者を育成するための『教育実習』の在り方を早急に再検討しなければならない。

保育の記録は、子どもの姿にスポットを当ててその育ちを理解することが「保育の質」を保障することとなる。子どもの育ちを理解する手段の一つとして、『ビジュアル(写真)』を使った記録を取る園があり、AIを用いた保育記録を取り入れる園も出てくるなど、保育現場の進化がおりた。

そこで、我々保育者養成校として、教育実習記録(日誌)の体裁を再検討し、現在の多様化した保育形態や子どもの育ちにスポットを当てた実習日誌に修正していく必要があると考え、本稿においてその検討を述べることにする。

## 2. 保育記録の意義

保育記録とは、保育中の出来事(子ども同士の関わり、保育者と子どもの関わり、物や場所との関わりなど)をメモしたり覚えておいたりして、保育終了後に文章にしたものである。さらに、メモを元に記録を文章化することで以下の3点がもたらされる(小川、1988)。

- ①保育場面のイメージを忘れないように定着させる
- ②保育者の頭の中で保育が再現される
- ③自分の保育を頭の中で再構成し、保育を見直す手段となる

保育者を目指す学生は、まずは実習を通して物や人、場などの環境に関わりその中で遊びや子どもをしっかり捉え、文章にする力を養う必要がある。

## 3. 実習日誌の現状

### ①実習日誌を書く負担

学生達は睡眠時間を割いて実習日誌を書いている。実習期間中の日誌記録にかかる時間は書き慣れるまで1日5時間もかかって書く学生もいる。保育の記録を思い起こして書くことは、保育を理解するために有効な記録である。しかしながら、それを2週間継続して保育内容を丁寧に書き綴る労力は大変である。

### ②記録を取るための実習

実習日誌に固執して、保育中に絶えずメモを取っている学生がいる。実習の本分は記録を取ることにあるのではない。目の前にいる子どもたちと関わり、子どもの姿を捉え、子どもの育ちを保障する保育を考えることにあると言える。子どもの懐に飛び込んでいく機会をせつかく与えられているにもかかわらず、遠目に観察する体の学生が多い。

### ③子どもの姿を捉えて記録に書くことの難しさ

従来の実習日誌に書く欄には、保育の流れの中に子どもの姿を書き込むよう指導している。しかしながら、子ども一人一人の動きを保育の流れの中で捉えて考察すること、さらには活動自体が子どもたちによってどのように展開していったのかをダイナミックに捉えて考察することが難しい。そこで、園評価は「子どもの状況を捉えて対応することが苦手な学生である。」と指摘されることになる。

### ④保育現場(担任)への負担

実習を担当するクラスの担任が、学生の実習日誌を読む作業は保育時間外であり、大きな負担である。その内容が毎日の保育の流れを同じように書き綴ったものであれば、指導内容の多くが誤字脱字に終始するのも納得である。実習したその日の記録がリアルに見えてくる書き方ではなく、マニュアル的な書き方になっている学生が多い。

以上の様な現状から、保育者として就職していく上で意義深い学びとなっていない点が多く見られるのではないかと考えた。



平成28年2月2日 火曜日(第5日目) 天気 晴れ			
3名児クラス あやうらび組	出席数 男 18名 女 18名	計 名 36名	学生氏名 監見つる子 指導者印
本日の保育のねらい・主な活動 園外保育(交通ルールを守り、安全に行動する。広い空間で身体をのびのびと動かす。元気に遊ぶ。)		本日の自分の実習目標 散歩や園外での子どもの活動の様子を写真で取る。園外保育に必要な保育者の配慮を学ぶ。	
時程	幼児の活動	教師の活動	実習生の動き・気づき
8:30	順次登園 ままご(7名)は遊び	保護者や子どもと挨拶交換のり。	子どもの活動を見守りつつ挨拶交換をする。
項目を自分で決めて、罫線を引き、記入欄を作る。			
10:15	散歩(徒歩) 上着脱下・靴脱ぎと身の回りに二列に並ぶ。 おしゃべりや手遊びをする。	列の先頭・真ん中・最後につく。(靴脱ぎの順番あり) 横断歩道では、人の横断歩道を歩くと、歩行者の安全に注意する。安全に目と通す。また、後方的に遊ぶ。 おしゃべりや手遊びをする。	横断歩道は、歩行者の安全に注意する。歩行者の安全に注意する。歩行者の安全に注意する。
10:30	広場で遊ぶ(空間記録①) 土手に登り、おしゃべりや手遊びをする。 おしゃべりや手遊びをする。	安全に目と通す。また、後方的に遊ぶ。 おしゃべりや手遊びをする。	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。
11:20	散歩(徒歩) 行きと戻り、列の先頭と最後は歩く。列の先頭と最後は歩く。列の先頭と最後は歩く。	列の先頭・真ん中・最後につく。(靴脱ぎの順番あり) 横断歩道では、人の横断歩道を歩くと、歩行者の安全に注意する。安全に目と通す。また、後方的に遊ぶ。 おしゃべりや手遊びをする。	横断歩道は、歩行者の安全に注意する。歩行者の安全に注意する。歩行者の安全に注意する。
11:30	保護室に入入る寺と現いながる。 トイレに行く。	保護室の準備をする。	保護室の準備をする。
12:10	食食(空間記録②) 手洗いをし、椅子を移動し、スプーンやフォークを持って、おしゃべりや手遊びをする。早くおしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。	一人ひとりに手洗いをさせる。おしゃべりや手遊びをする。	食卓を見守り、順番に食べる。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。
14:00	園外保育 自由で遊ぶ。 おしゃべりや手遊びをする。	一人ひとりに手洗いをさせる。おしゃべりや手遊びをする。	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。

図3 教育実習Ⅱ実習記録記入例

【空間的な記録】の方法の記入例

補足・特記事項(図・表、資料、エピソード 他)

空間記録①(土手での遊びの様子)  
おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。

空間記録②(食食)  
おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。

時系列記録の続きを記入することもできる。

図5 教育実習Ⅱ実習記録 空間的な記録記入例

補足・特記事項(図・表、資料、エピソード 他)			
時程	幼児の活動	教師の活動	実習生の動き・気づき
11:20	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。
11:55	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。
12:25	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。
13:15	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。
13:40	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。
14:00	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。	おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。おしゃべりや手遊びをする。

図4 教育実習Ⅱ実習記録 学生の記入例

B. 保育を空間的にとらえ、子どもの様子や関わりを記録し学ぶ、空間的な記録

「環境設定」の項目をあえて立てずに、「空間的な記録」のようにして後の「補足・特記」のページに図等を用いてわかりやすく書き込み記録する。これは子どもが自ら活動や遊びを選ぶ、活動の記録に有効な方法である。自由遊びの場面や行事の様子など、より広い視野で子どもの動きを書き込みたい時などにも有効である。(図5、図6、図7)

補足・特記事項(図・表、資料、エピソード 他)

絵の具を使いときの進め方

複数種類の絵の具を用いる。  
上の絵の具の缶に水を多めにすると何日も使うことができる。また、水が多いため1つの筆でどの色を使っても混ざらない。子どもはべたべたする缶に塗っていた。

左の缶に絵の具はクレパスを引く。なので描いた絵が汚れることはなく子どもにも負担が少ない。

《七夕・矢印書き》  
一度履いた事は下書きをしておく。  
自由画の上で書く。  
初めは鉛筆で書き、クレパスでなぞる。  
\*自由画の上で書いたのは、表に組・名前、裏に原色を書いたので裏面使うため、机が汚れないよう自由画を使う。また自由画に字の書き込みも行うことができる。

図6 教育実習Ⅱ実習記録 学生の空間的な記録記入例1



